

出版企画書

タイトル	『ラブレターの代筆業をしています』
名前	小林 慎太郎
プロフィール	<p>小林慎太郎。1979年、東京生まれ。立教大学卒業。グロービス経営大学院修了（MBA）。2003年東証一部上場のシステムインテグレーターにエンジニアとして入社。その後、WEB制作会社等を経て、現在は外資系ITベンチャーにて人事や総務、社内ITなどのバックオフィス部門における責任者として働く。</p> <p>35歳の時に、ふと「仕事も充実しているし、家庭も充実している。だけど、何となくこのままだとヤバイ」と焦燥感を覚え、妻子がいる身にもかかわらず“ラブレター代筆”を主サービスとするデンシワークス (<a href="http://dsworks.jp/">http://dsworks.jp/</a>) を設立。</p> <p>その後、「若い人にも手紙の素晴らしさを知ってもらいたい」と勝手に思い立ち、手紙文化を普及させるための協会&lt;日本"時には手紙"協会&gt; (<a href="http://letter-as.com/">http://letter-as.com/</a>) を設立。現在、会社員、個人事業主、協会運営と3つのキャリアを並行して歩む日々を過ごす。</p>
企画概要	<p>35歳という青年でも中年でもない中途半端な年齢を迎え、自分の人生に焦りを覚える男。妻子はあれども、戦略もお金も何もなく、それでも何か始めなくてはならないと思い立ち、ラブレター代筆業を始める。</p> <p>仕事がまったく来ない不安な日々、副業をすることに対する会社からの糾弾など、不安定な要素はあれども、会社に頼らず裸一貫で仕事をしていることの充実感、ラブレター代筆の依頼をしてくる人々との出会いなど、得るものも数多くある日々。</p> <p>会社員とは？ 生きるとは？ ラブレターとは？ 湧き上がる疑問と、ラブレター代筆の仕事を通して、それらの疑問に対する答えを見つけていく物語。</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業に興味はあるものの、サラリーマンとしての生活も捨てがたく、逡巡しているサラリーマン</li> <li>・ 日々に対して漠然とした不安はあるものの、何をどうしていいかわからないサラリーマン</li> </ul>
目次	<p>序章：「例えるなら、失恋ソングのようなお話」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35歳妻子持ちが急に思い立ち、会社員のかたわら起業</li> <li>・ ラブレター代筆家誕生</li> <li>・ ラブレター代筆家の僕と、僕に依頼をする人たち</li> <li>・ 副業が会社に発覚！</li> <li>・ サラリーマンはカッコいい</li> <li>・ &lt;日本"時には手紙"協会&gt; 設立</li> <li>・ ラブレターの代筆業をしています</li> </ul>
その他 ・ 過去制作記事 ・ メディア掲載	<p>(過去制作記事)  <a href="http://storys.jp/story/14671">http://storys.jp/story/14671</a>          (メディア掲載)  <a href="http://an-life.jp/article/510/">http://an-life.jp/article/510/</a>          ※他、MXテレビ『5時に夢中』、TOKYO FM『ON THE PLANET』出演</p>